

2022年度 個人研究実績・成果報告書

2023年 4月 13日

所属	商経学部	職名	教授	氏名	千葉 啓 司
研究課題	収益費用アプローチと資産負債アプローチの研究				
研究キーワード	収益、費用、資産、負債	当年度計画に対する達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた		
関連するSDGs項目	9.産業と技術革新の基盤をつくろう	該当なし	該当なし	該当なし	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>当初計画していた収益認識基準の研究については、有償支給取引について収益費用アプローチと資産負債アプローチの双方から検討を加え、会計理論学会第37回大会における研究部会中間報告にまとめ上げた。</p> <p>また、危機管理システム研究学会における第22回年次大会において「ポストコロナ時代のパラダイムシフトとリスクマネジメント」という統一論題のもと、統一論題パネリストとして「有価証券報告書から見るコロナ禍への各企業の対応」というテーマで報告を行った。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>【論文（査読あり）】</p> <p>【著書・論文（査読なし）】</p> <p>会計理論学会第37回全国大会「収益認識についての総合的研究」中間報告うち「有償支給取引」（約6,000字）</p> <p>【学会発表等】</p> <p>会計理論学会第37回全国大会「収益認識についての総合的研究」中間報告うち「有償支給取引」（約6,000字）</p> <p>危機管理システム研究学会第22回年次大会「有価証券報告書から見るコロナ禍への各企業の対応」（約7,000字）</p> <p>3. 主な経費</p> <p>専門書籍およびソフトウェア</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <p>特になし。</p>					
（本文は2ページ以内にまとめること）					